

調査結果（※以下のリンクをクリックすると、個票に移動することができます）

③スポーツ交流

1. 大韓民国江原道三陟市－富山県黒部市 「 スポーツ（マラソン）相互交流に関する協定書 」	1
2. 大韓民国江原道原州市－長野県飯田市 「 国際ウオーキング大会・飯田やまびこマーチ大会友好提携 」	2
3. 大韓民国江原道原州市－埼玉県東松山市 「 友好親善交流協定 」	3
4. フランス共和国ニューカレドニア ヌメア市－東京都立川市 「 両都市マラソン大会の姉妹提携に関する協定 」	4
5. アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市、中華人民共和国遼寧省瀋陽市、ドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市、ロシア連邦ノボシビルスク州ノボシビルスク市－北海道札幌市 「 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流 」	5
6. アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市、中華人民共和国遼寧省瀋陽市、ドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市、ロシア連邦ノボシビルスク州ノボシビルスク市－北海道札幌市 「 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流等に関する確認書 」	6
7. 大韓民国江原道東海市、ロシア連邦ウラジオストク市－鳥取県境港市 「 協力計画議事録（三市協力計画議事録） 」【再掲】	7
8. ドイツ連邦共和国チュウリンゲン州プンパルツ協議会の構成市町村－長野県小布施町（シュバイナ町、ルーラ市、バートリーベンシュタイン市、ガイサ市、バートランゲンザルツァ市、プンパルツ協議会） 「 友好協定 」	8

③スポーツ交流

1. スポーツ（マラソン）相互交流に関する協定書

(1) 自治体名

日本の自治体	富山県黒部市
海外の自治体	大韓民国江原道三陟市

(2) 提携年月日

平成14（2002）年4月26日

(3) 提携に至った経緯

<p>当該協定の締結の前に県のあっせんにより両市の職員相互派遣交流を行っており、既に交流があったことに加え、両市共に有名なマラソン大会を開催していたため、「スポーツ（マラソン）相互交流に関する協定」を結ぶこととなった。</p>

(4) 提携後の取組内容

<p>毎年、学生もしくは一般対象にマラソン交流を行い、両市にて派遣及び受入を行っている。</p>
--

(5) 取組による成果・課題等

<p>締結以来、毎年欠かさず交流が続いている。</p>

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

http://www.city.kurobe.toyama.jp/contents/koryu/samchoek2.html

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	市長政策室 企画政策課 国際交流係		
電話番号	0765-54-2111	電子メール	kikakuseisaku@city.kurobe.lg.jp

2. 韓国ウオンジュ国際ウォーキング大会飯田やまびこマーチ大会友好提携

(1) 自治体名

日本の自治体	長野県飯田市
海外の自治体	大韓民国江原道原州市

(2) 提携年月日

平成23（2011）年4月23日

(3) 提携に至った経緯

<p>昭和63年、「第2回飯田やまびこマーチ」に韓国から参加。</p> <p>平成18年、「第20回飯田やまびこマーチ」の折に、韓国原州市から尚志大学李教授を招聘し、記念講演会を実施したことがきっかけとなり、実行委員会同士の交流が本格的にはじまった。市民レベルの交流を更に深めるために、大会同士の友好提携を結んだ。</p>

(4) 提携後の取組内容

<p>継続してお互いの大会に参加して交流を深めている。</p>

(5) 取組による成果・課題等

<p>ウォーキングを通じての市民レベルでの交流ができている。お互いの大会を学びあう良い機会となっている。</p>
--

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	教育委員会 生涯学習スポーツ課		
電話番号	0265-22-4511（内線：5572）	電子メール	sports@city.iida.nagano.jp

3. 友好親善交流協定

(1) 自治体名

日本の自治体	埼玉県東松山市
海外の自治体	大韓民国江原道原州市

(2) 提携年月日

平成19（2007）年11月1日

(3) 提携に至った経緯

<p>「韓国国際ウォーキングフェスティバル」を開催（10月下旬）する原州市と、「日本スリーデーマーチ」を開催（11月上旬）する東松山市では、協定締結以前より市民レベルでの交流が行われていた経緯を踏まえ、両市の友好親善交流を図ることを目的に、平成19年度の協定締結に至った。</p> <p>なお、この年の両大会へはお互いの市長が両市を訪問し大会参加を行った。</p>
--

(4) 提携後の取組内容

<p>平成20年度（協定締結の翌年）には、東松山市議会議長の「韓国国際ウォーキングフェスティバル」参加に合わせ、東松山市国際交流協会会員による同行参加をした。</p> <p>また、平成21年度には、両市議会において交流協定書を交わし、市議会レベルでの両市ウォーキング大会へ参加・交流を継続実施し、現在に至っている。（※ただし、平成24年度は両市議会の両大会参加は見送った。）</p> <p>(1)平成21年10月23～25日 市議会の原州市訪問、ウォーキングフェスティバル参加（市議会議員6名、随行職員1名）</p> <p>(2)平成22年10月29～31日 市議会の原州市訪問、ウォーキングフェスティバル参加（市議会議員5名、随行職員1名）</p> <p>(3)平成23年10月28～30日 市議会の原州市訪問、ウォーキングフェスティバル参加（市議会議員6名、随行職員1名）</p>
--

(5) 取組による成果・課題等

<p>【成果】 当市と原州市のウォーキングを通じた交流が、両市の国際的なウォーキングイベントの発展に寄与し、地域の国際化の一助となっている。</p> <p>【課題】 現在、両市の交流は、主に市議会レベルで実施されている。今後、市民レベルの交流をいかに実施していくかが課題である。</p>

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	地域生活部 文化学習課		
電話番号	0493-21-1431	電子メール	y-naito@higashimatsuyama.lg.jp

4. ニューカレドニア国際マラソン大会と立川シティハーフマラソン姉妹提携に関する協定

(1) 自治体名

日本の自治体	東京都立川市
海外の自治体	フランス共和国ニューカレドニア ヌメア市

(2) 提携年月日

平成24（2012）年3月1日

(3) 提携に至った経緯

<p>昭和57年、立川シティハーフマラソンの前身となる立川マラソンがスタートした。参加者からフルマラソンを走りたいとの要望があり、海外の提携先としてニューカレドニアを候補地とした。翌年、姉妹提携に関する覚書を取り交わし、以後、平成22年の立川・昭島マラソンまで継続していた。平成23年は東日本大震災の影響で開催できなかったが、平成24年から新たに立川シティハーフマラソンとして、姉妹提携を締結するに至った。</p>

(4) 提携後の取組内容

<ul style="list-style-type: none">・立川シティハーフマラソンとニューカレドニア国際マラソン大会は、双方の大会に選手団の参加枠を確保する。・大会参加に要する渡航費及び滞在費等は、受入側の負担とする。
--

(5) 取組による成果・課題等

<p>昭和59年、立川青年会議所とニューカレドニア青年会議所の交流が始まり、最近では、立川第四中学校とヌメア市ボドゥー中学校生徒の相互訪問が10年続いており、スポーツ以外の相互交流が盛んになっている。</p>
--

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

http://www.marathonnouvellecaledonie.com/

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	教育委員会事務局 教育部 スポーツ振興課		
電話番号	042-529-8515	電子メール	sports@city.tachikawa.lg.jp

5. 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流

(1) 自治体名

日本の自治体	北海道札幌市
海外の自治体	アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市 ドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市 中華人民共和国遼寧省瀋陽市 ロシア連邦ノボシビルスク州ノボシビルスク市

(2) 提携年月日

昭和59（1984）年10月7日

(3) 提携に至った経緯

昭和59年9月、青少年の健やかな育成を目指すと共に、青少年の諸外国での見聞を広め、重ねて4都市間の親善を図るため、札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市で12～14歳の男子サッカー交流試合が行われた。同年10月、それ以降も競技種目を固定せずに毎年開催することとし、4都市間で確認書が交わされた。

平成7年、ノボシビルスク市も加わり、姉妹都市相互のより一層の発展と親善を目指しての確認書が新たに交わされた。

(4) 提携後の取組内容

平成7年にノボシビルスク市を加え新たに確認書を交わして以降、それまで毎年持ち回り開催していたが、各姉妹都市との提携記念年にその姉妹都市に派遣することを原則に実施し、5年に1度は札幌市に全姉妹都市を招く方式に改めた。

(5) 取組による成果・課題等

事業開始から20年以上が経過し、各都市の社会情勢や財政状況が異なっており、統一的な対応が難しくなっていること、平成22年に韓国大田市と新たに姉妹都市提携を結び、姉妹都市が5ヶ国から6ヶ国になったことから、今後の交流方法について再度見直す必要がある。

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	観光文化局 スポーツ部 企画事業課		
電話番号	011-211-3044	電子メール	

6. 札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市及びノボシビルスク市国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流及び札幌マラソン大会姉妹都市交流に関する確認書

(1) 自治体名

日本の自治体	北海道札幌市
海外の自治体	アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市 ドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市 中華人民共和国遼寧省瀋陽市 ロシア連邦ノボシビルスク州ノボシビルスク市

(2) 提携年月日

平成7（1995）年

(3) 提携に至った経緯

<p>本市では市民レベルでの国際交流を発展させる目的で、姉妹都市の外国人選手団と市民ランナーとのスポーツ交流を行ってきた。</p> <p>平成7年からは「札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市及びノボシビルスク市国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流及び札幌マラソン大会姉妹都市交流に関する確認書」を取り交わし、各姉妹都市と5年ごとの記念年に交流することとしている。</p>

(4) 提携後の取組内容

<p>各姉妹都市との記念年に、選手団を札幌マラソンに招待している。また、平成22年に韓国大田広域市と新たに姉妹都市提携を結んだため、平成23年の札幌マラソンには大田広域市からの選手団を招待した。</p>

(5) 取組による成果・課題等

<p>歴史ある事業であるが、各都市の社会情勢や財政状況が異なっており、統一的な対応が難しくなっていること、平成22年に韓国大田市と新たに姉妹都市提携を結び、姉妹都市が5ヶ国から6ヶ国になったことから、今後の交流方法について再度見直す必要がある。</p>
--

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	観光文化局 スポーツ部 企画事業課		
電話番号	011-211-3044	電子メール	

7. ロシア連邦ウラジオストク市役所、大韓民国東海市役所、日本境港市役所間の協力計画議事録（三市協力計画議事録）【再掲】

(1) 自治体名

日本の自治体	鳥取県境港市
海外の自治体	ロシア連邦ウラジオストク市、大韓民国江原道東海市

(2) 提携年月日

平成21（2009）年10月6日

(3) 提携に至った経緯

<p>平成21年6月に境港市と東海市、ウラジオストク市を結ぶ、国際定期フェリー航路が就航した。</p> <p>この就航を契機として、航路の利用促進と寄港地である三市市民の相互交流の活性化を図るため、同年10月6日、ウラジオストク市で三市の代表者がスポーツや文化事業を通じた市民交流促進に係る議事録に署名した。</p>
--

(4) 提携後の取組内容

<ul style="list-style-type: none">・ 駅伝競走大会へのロシア・韓国選手団の招へい 平成22年から境港市で毎年行われる駅伝大会にウラジオストク市、東海市の選手団を招へい。平成23年においても前年に引き続き両市選手団を招へいした。・ 青少年サッカー交流事業の実施 平成23年8月に、市内中学生のサッカーチームがウラジオストク市、東海市の両市を国際定期フェリーで訪問し、交流試合を実施。 ※平成24年も継続して実施。交流先は東海市のみ。・ その他、市民レベルでのスポーツ交流を複数実施。

(5) 取組による成果・課題等

<ul style="list-style-type: none">・ 毎年実施される交流事業として定着しつつある事業もあり、市民レベルでの交流が促進された。・ 交流の実施主体の裾野を広げること、一方向の交流ではなく相互交流を促進することを通じて、より一層の交流促進を図ることが今後の課題。
--

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	教育委員会 生涯学習課		
電話番号	0859-47-1092	電子メール	syougaiakusyu@city.sakaiminato.lg.jp

8. 友好協定

(1) 自治体名

日本の自治体	長野県小布施町
海外の自治体	ドイツ連邦共和国チュウリンゲン州プンパルツ協議会を構成する市町村 (シュバイナ町、ルーラ市、バートリーベンシュタイン市、ガイサ市、バ ートランゲンザルツァ市、プンパルツ協議会)

(2) 提携年月日

平成23(2011)年10月28日

(3) 提携に至った経緯

小布施町は、パワーウォーキングを取り入れた健康づくりから交流へと発展させ、新たなまちづくり事業につなげることを目的に、平成22年度に海外先進地であるドイツを視察。
パワーウォークを考案したハートヴィッヒ・ガウダー氏を介して訪問したプンパルツ協議会から、友好協定の提案を受けたことから、平成23年度もドイツ視察を実施し、提携を結ぶ。

(4) 提携後の取組内容

平成24年度は、提携した市町の首長と住民、プンパルツ協議会長が11月に来日、2日間当町を訪問し、住民と交流する。

(5) 取組による成果・課題等

平成23年度に友好協定を締結したばかりであり、交流を継続して実施していきたい。

(6) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(7) 問い合わせ先(担当課)

担当部署名	健康福祉部門健康グループ		
電話番号	026-214-9107	電子メール	kenkou@town.obuse.nagano.jp